

重点品目

いちご

～「くだもの王国おかやま」の冬のくだものとしてブランド確立～

1 県内の主な産地（R4年度 県農産課調べ）

岡山市（8.9ha）、赤磐市（1.9ha）、倉敷市（1.7ha）

2 生産状況（県農産課調べ、農林水産統計）

| 区分 | H30 | R元 | R2 | R3 | R4 | R4/H30 |
|----------|------|------|------|------|------|--------|
| 栽培面積(ha) | 20.2 | 20.6 | 21.2 | 21.1 | 22.8 | 112.9% |
| 産出額(億円) | 11 | 12 | 11 | 10 | — | —% |

3 特長

- ・冬から春に出荷できるいちごは、令和元年産から重点的にブランド化を進めている「晴苺」について、関係機関が一体となって生産振興している。
- ・本県ならではの高品質ないちごブランドの育成と供給体制の確立を図っており「晴苺」については、令和元年産から首都圏への出荷を本格的に開始している。
- ・「くだもの王国おかやま」の冬のくだものとして需要が高く、農業団体を通じた市場出荷のほか、直売所や観光農園など販売チャンネルは多岐にわたっている。

〈振興方針〉

- ・「晴苺」の栽培面積拡大による首都圏への出荷量増大
- ・担い手の確保・育成による産地の維持・拡大
- ・企業参入による栽培の拡大
- ・環境モニタリングや環境制御技術の導入等による高品質、安定生産技術の確立
- ・県オリジナル品種の育成
- ・年間を通じて多彩で高品質なくだものが提供できる「くだもの王国おかやま」のブランド価値の確立

